



栗田工業株式会社

2021年3月期 第1四半期 決算説明会

(証券コード：6370)

2020年8月7日

業績概況

(単位：億円)		2019/6期	2020/6期	前年同期比	上期見通し	前年同期比	
受	注	高	727	654	△ 10.0%	1,230	△ 10.7%
売	上	高	643	610	△ 5.2%	1,230	△ 6.6%
事	業	利	57	59	+ 3.8%	89	△ 34.9%
そ	の	の	46	2	－	△ 4	－
営	業	利	102	61	△ 40.1%	85	△ 54.1%
税	引	前	104	60	△ 42.8%	86	△ 54.2%
親	会	社	73	40	△ 44.9%	60	△ 55.5%
の	所	有					
四	半	期					
利	益						
1	株	当	65.07	35.87	△ 44.9%	53.43	△ 55.5%
た	り						
四	半	期					
利	益	(					
円)							
為 替 レ ー ト	USD (円)	109.90	107.62				
	EUR (円)	123.49	118.48				
	CNY (円)	16.07	15.17				

- 当四半期から米国で精密洗浄事業を手掛けるペンタゴン・テクノロジーズ社を新規に連結。
- その他収支には、前年同期に超純水供給事業用資産の売却益を、当四半期にはペンタゴン社株式の段階取得に係る差益を含む。

セグメント別の実績

(単位：億円)		2019/6期	2020/6期	前年同期比	上期見通し
全社	受注高	727	654	△ 73	1,230
	売上高	643	610	△ 33	1,230
	事業利益	57	59	+ 2	89
	事業利益率	8.8%	9.7%		7.2%
	営業利益	102	61	△ 41	85
水処理薬品事業	受注高	289	257	△ 32	518
	売上高	280	245	△ 35	515
	事業利益	26	28	+ 2	40
	事業利益率	9.2%	11.4%		7.8%
	営業利益	24	28	+ 3	37
水処理装置事業	受注高	438	397	△ 41	712
	売上高	363	365	+ 2	715
	事業利益	32	31	△ 1	49
	事業利益率	8.7%	8.5%		6.8%
	営業利益	79	34	△ 45	48

- 新型コロナウイルス感染拡大による顧客設備稼働率低下により水処理薬品事業の受注高・売上高が減少。
- 水処理薬品事業は、原価低減と経費削減により減収影響をカバーし増益を確保。
- 水処理装置事業は、ペンタゴン社の新規連結があったものの受注高が減少、売上高は微増。
- 水処理装置事業の事業利益は、既存事業の減収影響をペンタゴン社の利益貢献により相殺し微減益。
- 水処理装置事業の営業利益は、前年同期に計上した資産売却益がなくなり、大幅減益。

(単位：億円)	2019/6期	2020/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	289	257	△ 32	518
国内	123	114	△ 9	197
海外	167	144	△ 23	321
売上高	280	245	△ 35	515
国内	112	101	△ 11	195
海外	168	144	△ 24	320
事業利益	26	28	+ 2	40
事業利益率	9.2%	11.4%		7.8%
営業利益	24	28	+ 3	37

- 国内の売上高は全顧客業種で減少。
- 海外ではアビスタ社の2ヵ月分の実績が加わった。
- 海外の受注高・売上高は、新型コロナウイルスの影響を受け減少。
- 事業利益は、原価低減と経費削減により増益。

海外地域別売上高

(単位：億円)	2019/6期	2020/6期	前年同期比	上期見通し
アジア	66	52	△ 14	112
北米	48	45	△ 3	102
EMEA	48	43	△ 6	94
その他	6	5	△ 2	12
合計	168	144	△ 24	320

増減要因（億円）

オーガニック増減	△ 21
為替影響	△ 7
新規連結	+ 5

水処理装置事業（国内電子産業向け）

（単位：億円）	2019/6期	2020/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	141	132	△ 8	255
装置	2	8	+ 6	23
メンテナンス	61	36	△ 25	57
超純水供給事業	62	69	+ 7	139
精密洗浄	16	20	+ 3	36
売上高	141	128	△ 13	250
装置	27	5	△ 22	19
メンテナンス	36	35	△ 1	56
超純水供給事業	62	69	+ 7	139
精密洗浄	16	20	+ 3	36

- 装置の売上高は、大型案件の売上計上一巡により大きく減少。
- メンテナンスは新型コロナウイルスの影響により大型案件が実施延期となり受注高が減少なるも売上高はほぼ横ばい。
- 超純水供給事業は前期に水供給を開始した案件により増収。
- 精密洗浄は堅調に推移。

水処理装置事業（国内一般産業向け）

（単位：億円）	2019/6期	2020/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	214	155	△ 59	242
エネルギー・インフラ	165	138	△ 26	204
土壌浄化	42	10	△ 32	28
その他	7	7	△ 1	11
売上高	125	122	△ 3	261
エネルギー・インフラ	101	102	+ 1	216
土壌浄化	18	14	△ 4	34
その他	7	6	△ 0	11

- エネルギー・インフラの受注高は、水処理装置の大型案件がなく減少、一般産業向けメンテナンスも新型コロナウイルスの影響により実施延期が発生し減少。
- エネルギー・インフラの売上高は、受注残からの売上計上により、装置・メンテナンスともに前年同期並みを確保。
- 土壌浄化は、大型案件の一巡により、受注高・売上高ともに減少。

水処理装置事業（海外）

（単位：億円）	2019/6期	2020/6期	前年同期比	上期見通し
受注高	83	110	+ 27	215
装置	54	41	△ 13	110
メンテナンス	21	34	+ 13	42
超純水供給事業	8	7	△ 0	14
精密洗浄	－	27	+ 27	49
売上高	97	114	+ 18	204
装置	70	51	△ 19	109
メンテナンス	19	29	+ 10	32
超純水供給事業	8	7	△ 0	14
精密洗浄	－	27	+ 27	49

- 中国・韓国における装置の需要動向に大きな変化はなし。
- メンテナンスは堅調に推移。
- ペンタゴン社の新規連結により精密洗浄が新たに加わる。

海外地域別売上高

（単位：億円）	2019/6期	2020/6期	前年同期比	上期見通し
アジア	78	64	△ 14	116
北米他	19	50	+ 32	88
合計	97	114	+ 18	204

増減要因（億円）

オーガニック増減	△ 6
為替影響	△ 3
新規連結	+ 27

サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2019/6期	2020/6期	前年同期比	上期見通し
水処理薬品事業	280	245	△ 35	515
水処理装置事業	247	290	+ 43	534
超純水供給事業	69	76	+ 7	153
精密洗浄	16	47	+ 30	85
土壌浄化	18	14	△ 4	34
国内メンテナンス	119	120	+ 1	219
海外メンテナンス	19	29	+ 10	32
その他	6	5	△ 0	11
合計	527	536	+ 8	1,049

- 水処理薬品事業の売上高は新型コロナウイルスの影響により減少。
- 超純水供給事業と海外メンテナンスが増加。
- ペンタゴン社の新規連結により精密洗浄が増加。

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2019/6期	2020/6期	2021/3期 (見通し)
設備投資額（有形）	98	27	228
超純水供給事業	67	5	79
上記以外	32	22	148
減価償却費（有形）	33	44	173
水処理薬品事業	9	10	40
水処理装置事業	24	34	133
研究開発費	13	11	52
水処理薬品事業	5	4	24
水処理装置事業	8	7	29

- 有形固定資産投資は、前年同期に比べ大幅減なるも計画に沿った進捗。
- 有形固定資産の減価償却費は期初想定どおりの推移。



将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。